



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第7号 R7.6.23

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

ご来校、ありがとうございました 第1回学習参観

◎新年度になって初めての学習参観を6月18日(水)に実施しました。多数の保護者の方が来校され、子どもたちが楽しく学習に臨む姿を見ていただくことができました。どの学級でも、進んで手を挙げて意見を述べたり、調べたことをみんなの前で発表したり、グループで話し合っって考えを深めたり、意欲的に取り組む様子が見られました。各学級での授業風景を一部ご紹介します。

「わかった、できた」 学び合う楽しさあふれる授業風景

1年生：生活科
がっこうたんけんでみつけたこと

・入学して2か月経ち、小学校生活にも慣れ、学習習慣も身に付いてきた1年生です。先日2年生と一緒に行った学校探検で見つけたことを「おうちの人に伝えたい」という思いをもって取り組みました。絵や文章を用いて、工夫して発表することができました。

2年生：国語科
スイミー

・広い海の中、小さな赤い魚の兄弟たちが楽しく暮らしていました。その中で、一匹だけ黒い魚のスイミー。大きなマグロに兄弟たちが飲み込まれたスイミーは、きれいな海を見て元気を取り戻します。スイミーの気持ちになって、心の変化を読み取って発表しました。

3年生：国語科
俳句を楽しもう

・五・七・五の文字数で構成され、季語を入れて読む俳句について、言葉の調子や響きを、声に出して読みながら楽しめます。松尾芭蕉の句などを味わいながら、五・七・五のリズムは、校歌の歌詞など身近なところにも多く用いられていることに気付き関心を持ちました。

4年生：国語科
つなぎ言葉のはたらきを知ろう

・「だから」「しかし」「なぜかという」と等など、「つなぎ言葉」は、語と語や、段落と段落をつないだり、文と文のいろいろな関係を表したりします。「つなぎ言葉」の役割を理解し、正しく使うために、前半の文に続く適切な文を班で考えて発表する学習をしました。

5年生：家庭科
ひと針に心をこめて

・針と糸を使うことで生活が豊かになることに気付かせる学習です。授業では、実際に針と糸を使って、玉結びや玉どめにチャレンジしました。班でお互いに見合いながら、ひと針ひと針縫い進めます。保護者の方にもお手伝いいただき、楽しく取り組むことができました。



6年生：社会科 国づくりの歩み

・歴史の学習のはじめの単元で、縄文時代と弥生時代の人々の暮らしを表した図を見比べて、衣食住などにどのような違いがあるかを見つけます。個人で考えた後、班で意見を交流し合っ、黒板に掲示した図を指さすなどして発表しました。

にこにこ2組：自立活動 自分のことを伝えよう

・学級の友達の前で、自分の考えを言葉で伝え合う学習をしました。みんなで作ったすごろくゲームで、サイコロを振って止まったところに書いてあるお題について話します。ちょっと自信がない低学年の児童には、高学年が寄り添って助言をする優しい姿も見られました。



※ にこにこ1組は、交流学級での授業に参加したり、にこにこ学級で個別学習をしたりしました。

ようこそ園児さん 第1回本城東幼稚園交流会



◎赤坂小学校では、毎年、本城東幼稚園との間で年長児と1年生の交流会を実施しています。園児のみなさんが、「小学校に進学する際の壁を少しでも低くしたい」「小学校に行くことが楽しみになってほしい」との目的で、32年前から行われているものです。今年度も、年間3回の交流会を計画しており、6月11日(水)に第1回目として、本校に園児さんをお迎えしての『はじめましての会』が行われました。



1年生は数日前から担当割りや司会進行、呼びかけやダンスの練習など、様々な準備をして、園児の皆さんを大歓迎しました。みんな初めは緊張した様子でしたが、園児さんを前に堂々と司会をしたり、自分の担当の言葉を言ったり、1年生として立派に成長した姿を見せてくれました。



中庭で朝顔や昆虫を見せた後は、体育館に集まります。スポーツフェスティバルで踊った「ギーガー」を披露して、振り付けを教えながら一緒に踊ったり、玉入れをしたりして楽しく活動しました。みんな、かっこいいお兄さん、お姉さんになって、しっかり園児さんのお世話ができていました。お話を聞く態度や挨拶なども立派で、本城東幼稚園の園長先生をはじめ、先生方もとても感心していました。



学校の中では、いつもお世話をしてもらう立場の1年生ですが、この交流会を通して、大きく成長してくれることと期待しています。次回は、秋に『ネイチャーゲーム』を実施する予定です。お楽しみに。

平和について考える週間 6/23 ^{ヌチド ムタカラ}「命こそ宝」沖縄慰霊の日

◎今から80年前、日本がアメリカやイギリス、中国などの国々と戦った太平洋戦争で、日本国内でただ一つの地上戦が行われたのが沖縄です。アメリカ軍が沖縄本島に上陸して、約3か月、「鉄の暴風」ともいわれるほど激しい戦闘が続きました。沖縄の住民も戦争に巻き込まれて、県民の4人に1人が亡くなりました。その中には、子どもや生まれたばかりの赤ちゃんも多くいました。当時は「戦争に勝つこと」が何よりも優先されていたため、最も尊い命が、大切にみつかわれなかったのです。日本軍の組織的な戦いが終わった6月23日、沖縄の平和祈念公園では、この戦争で犠牲になった方々に祈りを捧げる「沖縄全戦没者追悼式」が開かれています。沖縄戦で家族を亡くした人たちの「心の傷」は未だに癒えず、米軍基地の存在がその傷をさらに痛めていると言われています。今週は、人権学習の一環として全校で平和について学ぶ機会をもつ週間としています。平和を愛し、二度と戦争を起こさないという思いを育てるように、各学年で学びを深めていきます。